

船舶事故調査報告書

令和2年2月26日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	乗揚
発生日時	平成31年4月29日 07時50分ごろ
発生場所	愛媛県今治市馬島北東方沖（来島海峡中水道） ナガセ鼻灯台から真方位011°290m付近 （概位 北緯34°07.2′ 東経132°59.8′）
事故の概要	貨物船HANJANIは、北北西進中、浅所に乗り揚げた。
事故調査の経過	令和元年5月29日、主管調査官（広島事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	貨物船 HANJANI（インドネシア共和国籍）、7,444トン 9350111（IMO番号）、PT JAGAT ZAMRUD KHATULISTIWA （船舶所有者）、商船三井近海株式会社（運航者）
乗組員等に関する情報	船長（インドネシア共和国籍）、免状不詳
負傷者	なし
損傷	左舷船底外板に亀裂
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 東北東、風力 2、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 下げ潮の初期、潮高 263cm（小島）、 潮流 転流時
事故の経過	本船は、船長ほか19人（全員インドネシア共和国籍）が乗り組み、北北西進中、船長が、来島海峡大橋橋下付近で操業する右舷船首方の漁船が気になり、避けようとして左舵を取り続けたところ、馬島北東方沖の浅所に乗り揚げた。
分析	本船は、北北西進中、船長が、来島海峡大橋橋下付近で操業する右舷船首方の漁船が気になり、避けようとして左舵を取り続けたことから、馬島北東方沖の浅所に乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、北北西進中、船長が来島海峡大橋橋下付近で操業する右舷船首方の漁船が気になり、避けようとして左舵を取り続けたため、馬島北東方沖の浅所に乗り揚げたものと考えられる。
再発防止策	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・操船者は、航行中、他の船舶を避ける場合、自船の位置や周囲の状況を把握すること。